

## 日本人口学会関西地域部会

## 活動計画・2017年度研究会実施計画（案）

日本人口学会関西地域部会  
川口 洋・中澤 港・平井晶子

## 1. 活動計画（2016-2018）

今期の研究課題として、(1) 人口学方法論の再検討、(2) 人口学からみた過去・現在・未来を掲げたい。

人口学の成果と課題が『人口大事典』で展望されてから10年以上が経過した。この間、隣接諸科学も著しい発展を遂げ、日本周辺の社会・経済的状况も一変した。隣接分野で深化した研究方法の理解に努め、人口学の方法論を見直す時期が来た。一方、人文・社会科学が新たな視座を打ち出すことのできない要因の一つとして、専門分化した研究課題の精緻な資料分析に力を尽くし、歴史的変化のなかで日常生活の全体像を総合的に叙述する方向を目指していない研究動向が指摘できる。過去・現在の人口変動を総合的にとらえ、人口変動が生じた要因を時間軸と空間軸のなかに位置づけ、将来予測につなげることが、人口学の重要な役割とみられる。

上記の研究課題を達成するために、毎年1回程度の研究会を企画運営する。研究会の会告や報告要旨などを日本人口学会HPと「人口学研究」に掲載して広報に努める。研究会では、会員・非会員を問わず、幅広い年齢層の研究者から御報告いただき、十分な討論時間を取って議論を深める。参加者が30人を超え、会員の増加に繋がるよう、人口学の活性化に努めたい。

## 2. 2016年度研究会の日時：2017年3月17日（土）9:30-17:00

## 3. 会場：大阪大学文学部大会議室

## 4. 会場のPC環境：大型スクリーン、液晶プロジェクタ

## 5. 会場校の担当者：堤 研二（会員・大阪大学）

## 6. テーマ：人口現象の空間分析

## 7. 共催：麗澤大学・歴史人口学セミナー、総合地球環境学研究所・村山 FS "Living Spaces Project"

## 8. 趣旨：研究課題(1)に掲げた研究課題の理解を深めるために、人口現象を空間分析した研究成果を報告していただき、討論する。

## 9. プログラム

開会の挨拶（10:00-10:10）川口 洋（会員・帝塚山大学）

第1報告（10:10-11:00、報告20分、討論30分、司会：平井晶子（会員・神戸大学））

高島正憲（非会員・東京大学）：17-19世紀における日本列島の都市化と経済成長（仮題）

第2報告（11:00-11:50、司会：高橋美由紀（会員・立正大学））

長岡 篤（会員・麗澤大学）：前近代における在郷町郡山を中心とした人口移動の空間的広がりとその要因（仮題）

昼休み（11:50-12:50）

村山プロジェクトの趣旨説明（12:50-13:00）村山 聡（会員・香川大学）

第3報告（13:00-13:50、司会：村山 聡（会員・香川大学））

青木高明（非会員・香川大学）：実地形空間における都市・道路網のパターン形成（仮題）

第4報告（13:50-14:40、司会：川口 洋）

藤原直哉（非会員・東京大学）：人の流動データによる人口動態解析（仮題）

第5報告（14:40-15:30、司会：堤 研二（会員・大阪大学））

浅田晴久（非会員・奈良女子大学）：インド・アッサム州の生態環境と多民族社会の人口分布（仮題）

特別講演（15:50-16:50、報告30分、討論30分、司会：中澤 港）

蔣 宏偉（非会員・総合地球環境学研究所）：集落の住居分布とマラリア感染リスクの分析（仮題）

閉会の挨拶（16:50-17:00）川口 洋

## 10. 配布資料 資料を配布したい先生は、25部持参してください。

## 11. 懇親会会場：（担当者：堤 研二）

## 12. 報告要旨 1000字程度、4月10日までに川口宛にwordで提出する。

以上。